

日本の国立公園と世界遺産を活かした地域活性化推進費

700百万円（661百万円）

自然環境局総務課自然ふれあい推進室、自然環境計画課、国立公園課

1. 事業の必要性・概要

日本には、亜熱帯から亜寒帯、原始的な自然から里地里山や里海まで、多種多様な自然環境が存在する。その優れた自然の風景や生物多様性、自然に根ざした地域の文化は、観光資源として極めて高い価値を有しており、国内はもとより訪日外国人の関心も高い。

こうした自然環境のうち特に重要な地域は、国内では国立公園や世界遺産として保全管理されているが、こうした地域についても観光資源としてのポテンシャルを、更に引き出し、これを地域づくりに活用できる余地が大きいと考えられる。

そこで、オリンピック・パラリンピック開催を契機に、日本の自然の魅力を質の高い保護管理によって維持しこれを効果的に国内外に向けて発信するとともに、より深く自然を体験するために必要なプログラム等を実施することにより、外国人を含む多くの利用者を誘致し、地域の活性化を図るものである。

2. 事業計画（業務内容）

（1）国立公園における戦略的な情報発信推進事業

外国人旅行者の受け皿となるよう、国立公園のブランド化を推進する戦略的事業の実施や情報発信モデル事業を行い、利用者ニーズに応えた情報発信機能の強化を図る。

（2）日本の国立公園・世界自然遺産保護管理強化事業

国立公園・世界自然遺産地域の科学的な保全管理体制を構築するとともに、新たな世界自然遺産（奄美・琉球）の登録を目指す。

（3）国立公園等地域活性化促進連携事業

エコツーリズムやジオパーク等を活用し、地域の活性化を図るとともに地域の協働や連携による管理体制の強化等を支援する。

3. 施策の効果

国立公園、世界遺産の自然資源を保全し、これを活かした地域づくりに寄与し、地方経済の活性化や地方の雇用機会を創出。

多言語化を含む戦略的な情報発信により、国立公園や世界遺産のブランドを活かした国内外の観光客の増加。

日本の国立公園と世界遺産を活かした地域活性化推進費

平成27年度予算要望額 700(661)百万円
支出予定先:民間団体等

日本には世界の人々を魅了する豊かな自然が多数存在

国立公園等の**自然**や**自然に根ざした地域の文化**は、観光資源として極めて高い価値を有し、訪日外国人の関心も高い。



ポテンシャルの高い日本の自然を活かし、国内外から多くの観光客を呼び込み、地域を活性化。

目標

日本の自然の魅力の効果的な発信やより深く自然を体験するため必要なプログラム等を実施



我が国は、ポテンシャルの高い豊かな素晴らしい自然を多数有する



魅力をさらに引きだすプログラム等を実施

① 戦略的な情報発信

オリンピック・パラリンピック開催決定を機に、外国人旅行者の受け皿となるよう、国立公園の魅力を戦略的に発信。



② 質の高い保護管理

貴重な自然環境は、国の資産。国立公園、さらには世界遺産として、質の高い保護管理を実施。



③ 地域との連携とプログラムの強化

エコツーリズム、ジオパーク、ボランティア体制や協働型管理運営体制の導入により地域とともに利用推進。



利用者増↓地域の活性化!!